

白浜千倉線の運行計画の変更（案）について

白浜千倉線は10.5往復運転しており、そのほかに重複路線として安房白浜～朝夷行政センターで白浜亀田線が急行で2往復、平館車庫～千倉駅入口で千倉線が5往復運転している。平成29年度に開催した第2回法定協議会において、館山日東バス・南房総市連名で、運行計画変更案が提案され承認されている。3月17日のダイヤ改正を皮切りに、平成30年度を目標年度として協議を進めていくこととなっていることから、下記①②について11月にダイヤ改正の実施、③④については実施に向けた協議、検討を進めていくものとする。

①南千倉～千倉駅のルート変更

南千倉～千倉駅は現在利用の少ない山側の道ではなく、商業施設（おどや、セブンイレブン、ウェルシア）のある海岸へ移行する。また、枝線解消でゆりや行政センターの新規バス停設置による利便性の向上を図ることができる。

新規バス停（予定） 千倉橋、千倉自動車教習所、無線局前、瀬戸浜
停名変更（予定） 千倉駅入口⇒椎の木原
朝夷行政センターへの停車

②白浜亀田線の急行運転を止めて千倉駅乗入のうえ各駅止、待ち先待機のバスの有効活用で1往復増便。日曜日に運行をして観光路線バス化。

③千倉線と白浜千倉線の統合に向けた協議

千倉線を千倉駅に乗入れて千倉駅～平館車庫を廃止し、白浜千倉線に統合直通化する。これにより、安房白浜から千倉駅経由で館山駅まで結び安房地域医療センターへの足を確保することができる。

④千倉駅の列車接続を館山側ではなく鴨川合わせに変更する

館山発の電車に合わせて運行しているが、千倉線を統合することにより館山方面は千倉線が担うため、鴨川合わせに変更して利便性を上げる。また、増えた3往復は鴨川から来るため、館山発の電車に接続して白浜へ向かう。